

オホーツクの海からクリオネが来ました



クリオネは何の仲間？

クリオネは、な、なんと、貝の仲間なのです。貝なんだけど、成長すると完全に貝殻がなくなっちゃう仲間なんです。クリオネというのは学名で、和名はハダカカメガイといいます。

身体は透明で、頭に角があるけど、これは触覚です。左右にある羽根みたいなものをパタパタさせて泳ぎます。

クリオネはどこから来るの？

クリオネは北極や南極など寒～いところに住んでいて、冬になると流水とともに北海道のオホーツク海沿岸に来るのです。

ちなみに、めくもりの湯にいるクリオネ君たちは、北見枝幸から来ました。クリオネは寒～いところが好きなので、めくもりの湯では、1℃～2℃に設定して飼っています。

クリオネの大きさは？

北海道で見られるクリオネは、だいたい1～3センチくらい。北極圏には8センチあるクリオネがいるといわれていますが、そんなに大きいとかわいくな～い(T_T)

★2倍に見えるレンズが貼り付けてあるから、よ～く観察してみてください。



クリオネは何を食べてるの？

クリオネは、ガビ～ン肉食性なんだって。同じ仲間のミジンウキマイマイという巻貝しか食べないといわれているけど、実はまだよく分かっていません。

クリオネがミジンウキマイマイを食べる姿はとってもどう猛といわれています。

安平町めくもりの湯